



## 2023年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社エル・ティー・エス  
 コード番号 6560 URL <https://lt-s.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樺島弘明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 グループ経営推進室長 (氏名) 李 成一  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6897-6140

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	2,820	18.3	306	15.7	338	29.1	229	26.9
2022年12月期第1四半期	2,385	36.9	265	54.0	262	46.8	180	48.9

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 230百万円 (24.7%) 2022年12月期第1四半期 184百万円 (52.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	51.02	49.34
2022年12月期第1四半期	43.11	41.40

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	5,764	3,490	59.8
2022年12月期	5,595	3,249	57.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 3,447百万円 2022年12月期 3,218百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		0.00		0.00	0.00
2023年12月期					
2023年12月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	31.8	950	89.6	900	84.0	560	141.4	124.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	4,495,375 株	2022年12月期	4,495,375 株
期末自己株式数	2023年12月期1Q	株	2022年12月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	4,495,375 株	2022年12月期1Q	4,191,328 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年1月1日～2023年3月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残りながらも、個人消費や設備投資は緩やかに持ち直しの動きが見られました。一方、地政学的リスクの長期化や世界的な金融引き締めが続いており、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等、世界経済の先行きには、依然として不透明感が漂う状況が続いております。

当社グループの主たる事業領域である情報サービス産業においては、社会環境の変化に対応するためのデジタルトランスフォーメーション(DX)への取り組みが本格化しております。AI、RPA(Robotic Process Automation)等の業務ロボット導入やテレワーク推進等の働き方改革など、社内における変革活動を側面支援するサービスへのニーズも高まっており、多様化するプロジェクト支援に関する需要も底堅く推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループは、個々の変革プロジェクトを支援するだけでなく、変化に対応し未来を切り拓ける人・事業・組織を創るパートナーとして、コンサルティングの枠組みを越えるサービスで顧客の変革を実行支援する「デジタル時代のベストパートナー」を目指し、顧客の現場に入り込み、顧客の課題や変革テーマに応じた各種支援をワンストップで提供するプロフェッショナルサービス事業及び企業のIT人材不足を解消するプラットフォーム事業を展開してまいりました。プロフェッショナルサービス事業では、積極的な人材採用及び育成活動を継続し、安定的なサービス提供能力の拡大に向けた取り組みを推進いたしました。プラットフォーム事業では、既存サービスである「アサインナビ」及び「コンサルタントジョブ」に加え、IT企業の成長と連携を促進する「グロースカンパニークラブ」の積極展開を推進しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,820,712千円(前年同期比18.3%増)、営業利益306,930千円(前年同期比15.7%増)、経常利益338,304千円(前年同期比29.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益229,371千円(前年同期比26.9%増)となりました。

セグメントごとの経営成績(売上高には内部売上高を含む)は、次のとおりです。

#### (プロフェッショナルサービス事業)

プロフェッショナルサービス事業では、コロナ禍で制約されていた企業活動が緩和に向かい、IT部門を取り巻く環境が大きく変化していく中で、旺盛なDXに関するニーズが追い風となり、ビジネスプロセスマネジメントを活用した業務の可視化・改善を強みとする従来型のコンサルティング案件(業務分析・設計、IT導入支援・現場展開)の受注は、堅調に推移いたしました。昨年度、資本業務提携したFPTジャパンホールディングス株式会社及び横河デジタル株式会社との協業に積極的に取り組むとともに、「洪水ハザードマップと人工衛星データ・AI技術を用いたサプライチェーンの影響可視化サービス」の第9回洪水管理国際会議(ICFM9)への出展、静岡県におけるデジタル・イノベーション人材育成プログラムや、広島県・群馬県における事例を通じた、自治体・地域のDX・SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)につながる活動等、外部への情報発信も推進しました。

この結果、プロフェッショナルサービス事業の売上高は2,519,200千円(前年同期比20.6%増)、セグメント利益(営業利益)は298,614千円(前年同期比22.6%増)となりました。

#### (プラットフォーム事業)

プラットフォーム事業では、IT業界に特化した、ビジネスマッチングと学びの場を提供するプラットフォームである「アサインナビ」の会員数は、2023年3月31日現在で法人・個人を合わせ12,804会員(前期末比310会員の増加)となり、順調に成長を続けております。会員基盤の拡大に伴い、「アサインナビ」及び「コンサルタントジョブ」によるマッチングや会員向けサービスの実績も増加し、売上高は堅調に推移しました。一方、自社・顧客・IT業界の成長を目指すIT企業向けの会員制コミュニティとして立ち上げた「グロースカンパニークラブ」の業容拡大及び収益化に向けたマーケティング活動を積極化し、既存サービスの収益拡大に耐えうる組織体制の強化も推進しました。

この結果、プラットフォーム事業の売上高は464,926千円(前年同期比16.9%増)、セグメント利益(営業利益)は8,316千円(前年同期比61.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は5,764,120千円となり、前連結会計年度末に比べ168,395千円増加しました。これは、主に有価証券が1,200,000千円、売掛金及び契約資産が235,006千円増加し、現金及び預金が1,194,418千円減少したことによるものであります。

負債は2,274,078千円となり、前連結会計年度末に比べ72,237千円減少しました。これは、主に未払金が150,503千円、長期借入金が74,382千円減少したことによるものであります。

純資産は3,490,041千円となり、前連結会計年度末に比べ240,633千円増加しました。これは、主に利益剰余金が229,371千円増加したことによるものであります。自己資本比率は、59.8%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年2月10日に決算短信で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,982,895	1,788,476
電子記録債権	133,082	133,564
売掛金及び契約資産	1,384,481	1,619,488
有価証券	—	1,200,000
仕掛品	22,497	17,950
貸倒引当金	△1,837	△1,963
その他	94,197	83,530
流動資産合計	4,615,316	4,841,047
固定資産		
有形固定資産	272,728	281,370
無形固定資産		
のれん	100,291	90,105
ソフトウェア	466	309
ソフトウェア仮勘定	2,423	6,591
無形固定資産合計	103,180	97,006
投資その他の資産		
繰延税金資産	176,091	153,127
敷金及び保証金	206,003	151,284
投資有価証券	163,724	181,596
その他	58,679	58,687
投資その他の資産合計	604,498	544,695
固定資産合計	980,407	923,073
資産合計	5,595,724	5,764,120

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	780,447	828,279
1年内返済予定の長期借入金	273,456	269,954
未払金	394,798	244,294
未払法人税等	60,620	96,077
賞与引当金	111,496	94,860
役員賞与引当金	4,950	4,950
契約負債	20,224	25,237
その他	182,633	259,484
流動負債合計	1,828,626	1,823,140
固定負債		
長期借入金	408,760	337,880
退職給付に係る負債	107,041	111,169
繰延税金負債	539	539
その他	1,349	1,349
固定負債合計	517,689	450,938
負債合計	2,346,316	2,274,078
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	728,090	728,090
資本剰余金	978,992	978,992
利益剰余金	1,510,195	1,739,567
株主資本合計	3,217,278	3,446,650
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	891	889
その他の包括利益累計額合計	891	889
新株予約権	26,386	36,817
非支配株主持分	4,851	5,683
純資産合計	3,249,408	3,490,041
負債純資産合計	5,595,724	5,764,120

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
売上高	2,385,332	2,820,712
売上原価	1,565,567	1,828,799
売上総利益	819,764	991,913
販売費及び一般管理費	554,593	684,982
営業利益	265,171	306,930
営業外収益		
受取利息	6	7
為替差益	—	1
保険解約返戻金	7	—
助成金収入	—	12,815
持分法による投資利益	—	17,871
その他	104	1,698
営業外収益合計	118	32,394
営業外費用		
支払利息	1,409	1,007
為替差損	166	—
自己株式取得費用	1,499	—
その他	137	13
営業外費用合計	3,212	1,020
経常利益	262,077	338,304
税金等調整前四半期純利益	262,077	338,304
法人税、住民税及び事業税	43,034	85,137
法人税等調整額	34,631	22,963
法人税等合計	77,666	108,101
四半期純利益	184,411	230,203
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,715	832
親会社株主に帰属する四半期純利益	180,695	229,371



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	184,411	230,203
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	170	△1
その他の包括利益合計	170	△1
四半期包括利益	184,581	230,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	180,866	229,369
非支配株主に係る四半期包括利益	3,715	832

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用) 「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用) 当社及び一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	プロフェッショナルサービス 事業	プラットフォーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,510,920	309,791	2,820,712	—	2,820,712
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,280	155,135	163,415	△163,415	—
計	2,519,200	464,926	2,984,127	△163,415	2,820,712
セグメント利益	298,614	8,316	306,930	—	306,930

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	プロフェッショナルサービス事業	プラットフォーム事業	
Business Process & Technology	2,247,017	—	2,247,017
Strategy & Innovation	240,386	—	240,386
Social & Public	23,516	—	23,516
アサインナビ	—	15,459	15,459
コンサルタントジョブ	—	293,192	293,192
グロースカンパニークラブ	—	1,140	1,140
顧客との契約から生じる収益	2,510,920	309,791	2,820,712
外部顧客への売上高	2,510,920	309,791	2,820,712

(注) 更なる事業成長に向けてサービスドメインの再定義を行ったことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、顧客との契約から生じる収益を分解した情報の表示方法を変更しております。

変更後の区分は、下記のとおりであります。

新区分	新区分の詳細(主なサービス)	旧区分
Business Process & Technology	データアナリティクス&AI、ビジネスプロセス&オペレーション、デジタルトランスフォーメーション、ITサービスマネジメント	ビジネスプロセスマネジメント、コンサルティング/エンジニアリング、戦略策定/デジタル活用
Strategy & Innovation	事業戦略、経営管理、経営変革・組織戦略	ビジネスプロセスマネジメント、コンサルティング/エンジニアリング、戦略策定/デジタル活用
Social & Public	ソーシャル・デベロップメント、パブリック・プライベート・パートナーシップ、サステナブル・トランスフォーメーション	コンサルティング/エンジニアリング
アサインナビ	案件/プロフェッショナル/IT企業のマッチング	アサインナビ
コンサルタントジョブ	フリーコンサルタント活躍支援	コンサルタントジョブ
グロースカンパニークラブ	成長IT企業コミュニティ、事例メディア、CSサーベイ	CS Clip